

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公表番号】特表 2020-520715 (P2020-520715A)  
【公表日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-028  
【出願番号】特願 2019-564081 (P2019-564081)  
【国際特許分類】

A 6 1 N 1/362 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/362

【誤訳訂正書】  
【提出日】令和 3 年 9 月 28 日 (2021.9.28)  
【誤訳訂正 1】  
【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0 0 9 9  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【0 0 9 9】

受信機 1 2 0 がバッテリー 1 1 4 から消費する電力を実質的に最小限に抑えるために、差動増幅器 1 2 4 a 及び差動増幅器 1 2 4 b が両方とも有効化される時間量は小さく保たれ、好ましくは最小化されるべきである。特定の実施形態によれば、両方の差動増幅器 1 2 4 a、1 2 4 b が両方とも有効化されている時間のうち少なくとも半分を超える時間、差動増幅器 1 2 4 a 及び差動増幅器 1 2 4 b の一方はオフセット補正されている。例えば、オフセット補正フェーズが完了するまでに 3 ミリ秒かかると仮定する。差動増幅器 1 2 4 a、1 2 4 b が両方とも有効化されている時間量がサイクル期間ごとに（例えば、1 0 0 ミリ秒ごとに）4 ミリ秒である場合、両方の差動増幅器 1 2 4 a 及び差動増幅器 1 2 4 b が有効化されている時間の少なくとも半分を超える時間、差動増幅器 1 2 4 a 及び差動増幅器 1 2 4 b の一方はオフセット補正されている。好ましくは、差動増幅器 1 2 4 a、1 2 4 b を含む受信機 1 2 0 によって消費される電力を実質的に最小化するために、両方の差動増幅器 1 2 4 a 及び差動増幅器 1 2 4 b が、いずれもオフセット補正されことなく有効化されている時間は、実質的に最小化される。特定の実施形態によれば、差動増幅器 1 2 4 a、1 2 4 b は、差動増幅器 1 2 4 a、1 2 4 b の一方のみが有効化されている時間の 2 0 % 未満（好ましくは 1 0 % 未満）の間、同時に有効化される。